よつて取 居 お か ともに行なわ く。 住者 ら生 いて租税 は 航 が ずる収益 空機 K 0 得する収益については、 際 を課 ※運輸 Ø れる当該恒 渡 を含 運用に係る財産 するととが から生ずる収益 に運用 む。)に対しては、 する船舶又は航空機及びこれ 久的施設又 できる。 (単独に若 (不動産を除く。 他 は当 方の締約国の租税を免除 ただし、 当 該 一該他 固 しくは企業全 定 一方 方 的) の つの締 施 0 締 設 いらの船 譲 約 約 0 譲渡 渡に 国 K 0 K

する。

3 る が 収益 方 規定 K 0 . 0 8 締 約 が ては、 国 適用される場合を除 の 居住者である法人の 次のことを条件として、 ŧ, 株式 一方の締約国 の 譲 当 一該他 渡か 5 の居住者 方 取 Ó 締約 得す

国

にお

て租

税

を課することができる。

- (a) セ ずれか ント は所有する株式で、 以上であること。 者が 0 合算されるも の時に 保有し又は所有する株式(おいて、その法人の株式 のを含む。)が、 譲渡者が保有し又は所 他の 0 当該課税年度 総数の二十五パ 関 有 係 者が するも 中 保 Ö めと 有 1 S
- (b) るとと。 の総数 渡者及 が Û そ 前記 0 法 の関係者が当該課税年 人の株式の 総数 の五 パ ·度中 Ì セ に譲 ン ١ 渡 以 Ł L であ た

- of performing professional services, includother Contracting State for the purpose perty, pertaining to a fixed base available State. exempt from tax of the other Contracting operation of such ships or aircraft shall be than immovable property, pertaining to the international traffic and any property, other alienation of ships or aircraft operated in tracting State. fixed base, may be taxed in that other Conwith the whole enterprise) or of such a a permanent establishment (alone or together ing such gains from the alienation of such to a resident of a Contracting State in the resident of a Contracting State from the However, gains derived by
- shares of a company being a resident of in that other Contracting State, the other Contracting State may be taxed a Contracting State from the alienation of applicable, gains derived by a resident of Unless the provisions of paragraph 2 are
- (a) shares held or owned by the alienator year, company at any time during the taxable the entire share capital of such amount to at least 25 per cent of as may be aggregated therewith) owned by any other related persons (together with such shares held or and
- (d) the total of the shares alienated entire share capital of amounts to at least 5 per cent of the persons during that taxable the alienator and such related such company. bу
- property other than tracting State from the alienation of any derived by those mentioned in the a resident of a Con-

4

約国

の居住

者が第十二条6並

及

び

3 方の締

K

5

. 9

Ń

産以外の

財産の譲渡

によつて取得する収益

K

びにこの条の1、

2

ついては、 他 方の締約国の租税を免除する。

第 + 四条

1 他 0 動 て租税を課することができる。 方の締 を遂行 に帰せられる部分についてのみ、 設を有 み租税を 活動に 一方の締約国の居住者が自由職業その他とれに類する独立 約 するため 関 する場合には、 課することができる。その者 国内に有 て取 に通常使用することができる固 得する所得に対しては、 しない限り、当該一方の締 当該所得に対しては、 当該他方の締 がその その者 約 ような固 当該固定 定的施 約国にお 国 が自己の活 K お 的 定的 設を S 施 7

2 育上の独立 医師及び公認会計士の独立の活動を含む。 自由職 業 の活動並びに医師、 には、 特に、学術上、文学上、美術上及び教 弁護士、技術士、 建築士、 歯

第十五

1 み租税を課することができる。 金その他これ て、 約国内で行なわ 第十六条及び第十八条から第二十一条までの規定を留保し 方の 締 らに類 約国 0 れない限り、 居住 する報酬 一者が勤 に対しては、 勤務が他方の 当該 務 K 関し 一方の締 て取得 そ の動 約国 締約国内で する K 務 が他 給 ょ 料 5 方の 行 て 賃 な 0

デンマークとの租税 (所得)条約

exempt from tax of preceding paragraphs of this provisions of paragraph the other Contracting 6 of Article shall be Article 12 and

Article

the h i s ing State but only so much of it as is attritracting State for the purpose of performing regularly available to him in the other Contracting State unless he has a fixed base character shall be taxable only in that Conor other independent activities of a similar ing State in respect of professional services 1. Income derived by a resident of a Contractbutable to that fixed base. activities. If he has such a fixed base, income may be taxed in the other Contract-

as well as the independent activities of artistic, educational or teaching activities especially, The term "professional services" includes, especially, independent scientific, literary, dentists and accountants. physicians, lawyers, engineers, architects,

ployment is so in the other Contracting State. ing State unless the employment is exercised ment shall be taxable only in that Contracta Contracting State in respect of an employsimilar remuneration derived by a resident of Subject to the provisions of Articles 16,
 18, 19, 20 and 21, salaries, wages and other exercised, such remuneration If the em-

四六

他方の締約国に われる場合には、 おいて租税を課することができる。 その勤務から生ずる報酬に対しては、 当該

- 2 約国 することができる。 ことを条件として、 1 内で行なう勤務に関して取得する報酬に対しては、 の規定にかかわらず、 当該一方の締約国においてのみ租税を課 一方の締約国 の居住者が他 方の 次の 締
- えない期間当該他 その報酬の受領者がその年を通じて合計百八十三日をと 方の締 約 国 内に 滞 在し、
- (b) これに代わる者から支払わ その報酬 が当該 他 方の 締 れ 約国 かつ、 の居住者で な S 雇 用 者又は
- (c) 施設又は固定的施 その 報酬 が当該 設 他 方 により負担されないこと。 Ø 締約国内に雇用者が有 する恒久的
- 3 運 する報酬に対しては、 できる。 輸に運 1及び2の規定 一用する船舶又は航空機に K かかわらず、 その締約国において租税を課すること 一方の締約国の企業が国際 おいて行なわれる勤務に関

第十六条

役員の資格で取得する報酬 て租税を課することができる。 一方の締約国 [の居住者が他方の締約国の居住者である法人の に対し Ť は、 当該他方の締約国にお

デンマークとの租税 (所得)条約

other Contracting State. as is derived therefrom may bе taxed in that

- Contracting State, if shall be taxable only in the first-mentioned exercised in that other Contracting State Contracting State in respect of an employment l, remuneration derived by a resident of a 2. Notwithstanding the provisions of paragraph
- (a) the recipient is present in that other periods not exceeding in the aggregate Contracting State for a period or 183 days in the calendar year concerned,
- (b) remuneration is paid by, or on behalf of, an employer who is not a resident of that other Contracting State, and
- (c) the remuneration is not borne by a permanent establishment or a fixed base Contracting State. which the employer has in that other
- operated in international traffic by an enteremployment exercised aboard a ship or aircraft this Article, remuneration in respect of an that Contracting prise of a Contracting State may be taxed in 3. Notwithstanding the preceding provisions of State.

Article

of the board of directors of a company Contracting State in his capacity as a may be taxed is a resident of the other Contracting Remuneration derived by a resident of a in that other Contracting which State

+ t 条

が 7 家がこれらの者とし ジ は、 できる。 オ又はテレビ 第十四 その活動 条及び が ジ 第 行 3 + なわ こての Ħ. ン 0 条の規定に 俳優、 個 れる締約 人的 活 音 国に かかか |楽家その 動により取得する所 お わらず、 S 他 て租税を課 0 芸能人及び運動 演 劇、 得 すること 映 に対し 画、 ラ

第十八条

に 対 が 過 一去の できる。 第十 しては、 勤務 九条 K 1 ō つき支払われる退職年 当 規定を留保して、 該 方 0 締 約国 K お 金 方の締約国 5 その 7 0 他と み租税を課すること 'n の居住者に対し に類する 報酬

+ 九条

酬に公 係務 る**遂** 報行

1 府若し 共団体 その受領者が当該 しくは地 て租税 政府 . (退職 当該 けが支払 くは地方公共団 0 方 職 を課することが 年 方の 務 · 金 公共団体に提供 5 0 を含む。 締約国若 遂行として一方の締約国又はその地方政 又は当 一方の締約国の国民であるときは、 体の に対 できる。 該 L)支出 いされ くはその地 一方 ĩ て Ó に係る基金 た役務について、 は、 締 そのような報酬については、 約国若 方政 当 該 府 しく から支払わ 方の 若 、はそ しく 個人に 締 約 Ö i 地方公 当該 れる報 地 玉 府若 対し K 方政 お

四八

Article

as such may be and by athletes, from their personal activities radio or television artistes, and musicians tainers, such as theatre, motion picture, 14 and 15, income derived by public enterin which these activities are exercised Notwithstanding the provisions of Articles taxed in the Contracting

Article 18

shall be neration paid to a resident of a Contracting Article 19, pensions and other similar remu-Subject to the provisions of paragraph 1 of taxable only in that Contracting consideration of past employment

Article 19

made by, a Contracting State or a political or out of funds to which contributions are national of that Contracting State may be taxed in that Contracting State. charge of functions of a governmental nature division or local authority in the disto that Contracting State, political subany individual in respect of services rendered subdivision or local authority thereof to 1. Remuneration, including pensions, paid by, Contracting State if the recipient is remuneration shall be taxable only in that Such

2 規定を 報酬又は退職 得を得る目的 方 適用する。 0 締 約国又はその地 年金 で行なり事業に関連する役務 につい ては、 方政府若 第十五条から第十八条まで しくは 地方 につき支払われる 公共団 体 が 0 利

方の

約国に

おい

てのみ租税を課することができる。

3 ことはない。 ح の条の規 定の適用は、 第一 条の規定によつて制限される

二十 条

国 n る教授又は教員 た 教育又は研究に関して取得 る直 X) 大学、 一方の締約国 いてのみ租 前 VC 他 校その 方の へで、 締 税を課することができる。 を訪れ、 他 約国 の教 現に他方 の居住者 育機関に 二年をこえない期間 する報酬につき、 の締約国 であつたもの お 5 一の居 て教育又は研究を行 住 者 当該他方の に対しては、 であり、 一時的に滞在す 又は訪 なら 締 そ 約

第二十

る学生又は事業修習者で現に他 はその 締約国 P つばら教育又は訓練を受けるため一方の締約国内に滞 滞在 から 教育又 0 支払わ 租 0 直 は訓 税を免除する。 前 練 に他 れるものであることを条件とする。 のため受け取る給付については、 方の締約国 ただし、 方 の締 の居住者であつたも 約 その給付が当該 国 の居 住者であ 当該 一方 0 Ď, しがその 方の 在す 又 締

、ンマークとの租税 (所得) 条約

authority thereof for the purpose of profits. State or a political subdivision or local with any business carried on by a Contracting respect of services rendered in connection 18 shall apply to remuneration or pensions in The provisions of Articles 15, 16,

of Article 1. Article shall not be limited by the provisions 3. The application of the provisions of this

or research. in respect of remuneration for such teaching be taxable only in that other Contracting a resident of the other Contracting State shall who is, or immediately before such visit was, school or other educational institution, and or conducting research at a university, college, exceeding two years for the purpose of teaching visit to a Contracting State for a period not A professor or teacher who makes a temporary

Article N

be exempt from tax of the first-mentioned Conresident of the other Contracting State shall of his education or training and who is, or in a Contracting State solely for the purpose student or business apprentice who is maintenance, education or training by a immediately before being so present was, a Payments received for the purpose of State, to him from outside provided that such payments that first-

四 九

きる。

のに対しては、 一方の締 第二十二条 約国 その締約国にお の居住

者の所得で前諸条に規定されていないも

いてのみ租税を課することが

で

ing

1 (a) 法令に基づい 所得をその租税の課税標準に含ませることができる。との するに際し、 日本国は、 て租税を課することができるすべての項目 日 との条約 本国の居住者に対する日本国の租税を決定 Ø 他の規定にかかわらず、 日本国

用を妨げるものと解してはならない。

規定は、

第十九条1、

第二十条及び第二十一条の規定の適

法の二 排除表

(b) その者の所得に対する日本国の租税から控除されるものと ら取得する所得に対応する部分をこえないものとする。 に日本国の租税として算出された額のうち、 する。ただし、その控除の額は、 を課することができる場合には、 得に対してこの条約 日本国 ンマー の居住者がデンマークから所得を取得し、 クに お S の規定に従いデンマ て納付される租税の額と 当該控除が行なわ 日本国の法令 l ク デ にか ンマ 等し の規定に従 5 れる前 その所 Š 7 ļ 額が 租 ク 税 か

デンマークとの租税 (所得)条約

mentioned Contracting State

五〇

Article 22

vention shall be taxable only in that Contracttioned in the foregoing Articles of this Contracting Items of income of a resident of a Con-State which are not expressly men-

Article 23

Articles 20 and 21. visions of paragraph 1 of Article 19 and construed to deny the application of the pro-Japan. The foregoing provisions shall not be all items of income taxable under the law of in the basis upon which that tax is imposed other provisions of this Convention, include resident of Japan, may, notwithstanding any 1. (a) Japan, in determining its tax on a

0 0

from Denmark. which is appropriate as computed before the deduction is given, however, exceed that part of the the law of Japan. The deduction shall not, of that person subject to the provisions of deduction from the Japanese tax on the income the Danish tax payable shall be allowed as a may be taxed in Denmark, an amount equal to ance with the provisions of this Convention, come from Denmark and that income, in accord-(b) Where a resident of Japan derives into the income derived

(b) (a) ず、 得に対してこの条約の規定に従い + るすべての項目の ら取得する所得に対応する部 化デン 者の所得に対するデンマークの租税から控除されるものと することが とができる。 の租税を決定するに際 デンマー 一条の規定 デ 日 デンマー ン , マ ー ただ 本国にお 7 I Ļ ・クの居 できる場合には、 クの租税とし ク の適 との規定は、 クの法令に基づいて租税を課することが その控除の額 いて納付される租税の額と等 住 用 所得をその デ を妨げるも ンマ 者が日本国 į 1 て算出された額のうち、 第十 ح ・クの は、 :分をこえないものとする。 デンマー 租 の条約の他 税 居住者 から所得 のと解し 九条1、 日 当該控除が行なわれる前 0 本国に 課税標準 クの法令 に対するデンマ を取得 第二 てはならない。 0 が規定 おいて租 ĸ Ĺ 一十条及び い額が K の規定に従 Ĺ 含ませると 日本国 かかわら 税 その所 そ を課 第二 っでき 1 'n 0

第二十 四 条

1 よりも重 るととが 況 5 K 一方の ある当 ある租税又はこれに関連する要件と異なり又はそれ 締 該 約 租税又は 他 玉 方の 0 国 ح 締約国 民 'n は、 に関連する要件を課されるととはな 他方の締約国 の国民 が課され VC おい ており又は課され て、 同 様 の状

2 よりその地位を与えられたすべての法人その他の団体(法人 ての個人及びいずれか一方の締約国で施行されている法令 「国民」とは、 いずれか一方の締約国 0 国籍を有する,すべ K

シマークとの租税 (所得)条約

Articles 20 and 21. provisions of paragraph 1 of Article 19 and be construed to deny the application of the Denmark. The foregoing provisions shall not other provisions of this Convention, include 2. (a) Denmark, in determining its tax on all items of income taxable under the law of in the basis upon which that tax is imposed resident of Denmark, may, notwithstanding any

2

from Japan which is appropriate to the income derived as computed before the deduction is given, of that person subject to the provisions of deduction from the Danish tax on the income Japanese tax payable shall be allowed as a may be taxed in Japan, an amount equal to the ance with the provisions of this Convention, nowever, exceed that part of the Danish tax, the law of Denmark. The deduction shall not, income from Japan and that income, in accord-Where a resident of Denmark derives

Article 24

subjected. State in the same circumstances are or may be to which nationals of that other Contracting than the taxation and connected requirements therewith which is other or more burdensome to any taxation or any requirement connected not be subjected in the other Contracting State The nationals of a Contracting State shall

other associations possessing the nationality of either of the 2. The term "nationals" means all individuals Contracting States and all corporations and (with or without juridical

「を有すると有しないとを問わない。)をいう。

3 K になら当該他 利に課されることはない。 方 する租 0 締 税 約 方の は、 \mathbb{K} 0 締 当該 企 約 国 他 が 方の 他 の企業に対して課される租税よりも 方の締約国 締 約国におい 内に有する恒久的 て、 同 様 の活動 施 を 設

4 る は支配され 扶養するため ことがある租税又 方の .対し 租税上 との 一又は二以上の居住者によつ 方の 締約国の て認めることを義務づけるものと解し 規 縮 の人的控除、 定 租税又はこれ 約国 は ているも の負担を理 類似 の企業で資本 一方の のは、 これ の他の企業が課されており又は課される 締約国に 救済及び軽 に関連する要件を課されることはない。 K 由として自 .関連する要件と異なり又はそれよ 当該 の全部又は . 対 一方の締約国において、 て直接又は間 滅 į 国 を他方 一の居 家族 一部 の締 住 の状況又は が他 ては 者 接に所有 に対し 約 国 方の ならない。 め っされ又 して認 締 居 家 住者 約国 当 族 該 80 を

6 5 と の 条に 条の規定の適用は、 おいて 租税」とは、すべての種類の税 第一条の規定によつて制限される を S 50

ことはない。

personality) deriving from the law in force their status as such in either of the Con-

carrying on the same activities. enterprises of that other Contracting State tracting State than the taxation levied on be less favourably levied in that other Conhas in the other Contracting State shall not which an enterprise of a Contracting State 3. The taxation on a permanent establishment

or family responsibilities which it grants to taxation purposes on account of civil status sonal allowances, reliefs and reductions for dents of the other Contracting State any obliging a Contracting State to grant to its own residents This provision shall not be construed

shall not be subjected in the first-mentioned more residents of the other Contracting State, controlled, directly or indirectly, by one or capital of which is wholly or partly owned 4. Enterprises of a Contracting State, the or more burdensome than the taxation and con-Contracting State to any taxation or any requirement connected therewith which is other

taxes of every kind and 5. In this Article the term "taxation" description

enterprises of that first-mentioned Contract-

subjected.

nected requirements to which other similar

ing State are or may be

Article shall not be limited 6. The application of the provisions of this of Article 1. by the provisions

1

とは別に、 るに至ると認めるときは、 措置に 一方の よりこの条約 締 自己が居住者である締約国 約 \mathbf{K} の居 の規定に 住者は、 両 .適 他方の 締約国の法令で定める救済手段 合しない課税を受け又は受け 締 の権限のある当局 約国に おいて執ら に対 れる

2 るため、 限 る当局 の 事件を解決 のある当局 が適当な解決を与えることができないときは、 他方の締約国の権限のある当局との合意によつてそ は、 するように努めるものとする。 との条約の規定に適合しない課税を回避す その権

めるも 約に規定されてい して生ずる困難又は疑義を合意によつて解決するように努 両締約国の 相互に協議することができる。 のとする。 権限 両締 のある当局は、この条約の解釈又は適用 ない場合における二重課税を除去するた 約国の権限のある当局は、 また、 との K

3

4

両

締

約国

Ø

権

限のある当局は、

との条の規定を実施するた

め

直

接相互に通信することができる。

その申立てが正当であると認められ、 その事件について申立てをすることができる。 か ~~ その 権 限のあ S

dies provided by the laws of those Contracting thority of the Contracting State of which he States, present his case to the competent au-Convention, he may, notwithstanding the remehim in taxation not in accordance with this Contracting State result or will result for considers that the actions taken in the other 1. Where a resident of a a resident. Contracting State

25

with this Convention. of the mutual appropriate solution, to resolve that case by and if it is not itself able to arrive at an 2. The competent authority shall endeavour, if the objection appears to it to be justified to the avoidance of taxation not in accordance agreement with the competent authority other Contracting State, with a view

al agreement any difficulties or doubts ing States shall endeavour to resolve ky mutu-3. The competent authorities of the Contractsult together for the elimination of double tion of this Convention. arising as to the interpretation or applica-Convention. taxation in cases not provided for in this They may also con-

provisions of this Article other for the purposes of giving effect to the ing States may communicate directly with each 4. The competent authorities of the Contract-

デンマークとの租税 (所得)条約

第二十六条

1 含む。)以外のいかなる者にも漏らしてはならない。 換された情 ために必要な情報を交換するものとする。このように |税がこの条約の規定に適合する課税であるものを実施する 約が適用 される租税に関する両 両締約国 される租税の賦課及び徴収に関与する者 (当局 報 0 は、 権限 秘密として取り扱わなければならず、 のある当局 締約国 は、 の国内法令で、 この条約及びこの条約 それに基づく して交 と の が を 適

(a) Ø (b) 行政上の慣行に抵触する行政上の措置を執ること。 ことを行なう義務を課するものと解し 当該一 当該一方の 方の締約国若しくは他方の締約国の法令又は 締約国 若しくは他方の締約国 ては ならない。 の法令の下に そ

ō

2

1の規定は、

いかなる場合にも、一方の締約国に対

次

(c) ることが公の秩序に反するような情報を提供すること。 きない資料を提供すること。 しくは取引の過程を明らかにするような情報又は公開 営業上、 て又はその行政の通常の運営において入手することが **專業上**、 産業上、 商業上若 しくは職業上 一の秘 す 密 で お

Article

cerned with the assessment or collection of persons or authorities other than those conunder is in accordance with this Convention. this Convention insofar as the taxation there vention and of the domestic laws of the Conthe taxes to which this Convention applies as secret and shall not be disclosed to Any information so exchanged shall be treated tracting States concerning taxes covered by is necessary for the carrying out of this Coning States shall exchange such information as 1. The competent authorities of the Contract-

- graph 1 be construed so as to impose on a Contracting State the obligation: In no case shall the provisions of para-
- (a) to carry out administrative measures ministrative practice of that or of at variance with the laws or the adthe other Contracting State;
- (c) (b) to supply particulars which are not normal course of the that or of the other Contracting obtainable under the laws or in the administration of State;
- to supply information which would disclosure of which would be trade process, or information the discommercial or professional secret or close any trade, business, industrial, contrary to

第二十

七条

Nothing in this Convention shall affect the

ではない。 K 基づく外 ح の条約の規 交官又は領事官の租税上の特 定は、 国際法の一般原則又は特別

1 条件を含む。)に従つて効力を生ずる。 条件(必要なときは、 意される日から、 K 修正を加えて適用することが 質を有する租税を課するものについて、 ク 交換される公文に の領域で、 との条約は、 と の との条 その定められ、 条約 おい その適用の効力発生及び終了に関する が 約 適用 て両締約国間で定められ、 の適 用 できる。との適用 される租税と実質的に類 から特に除外され かつ、 合意される修正及び そのまま又は必 は、 たデン かつ、 ح つのため 似の 一要な 合 性

2 するときは、 ح のとする。 の条約の適用は、 ح 0 条の規定に基 両締約国 づきと 第三十条の規定に基づきこの条約が終了 が別段の Ō 条 合意をしない限り、 約が 適用され た領域に 終了する 対する

権に影響を及ぼすも の協定の規定 Ō national law or under the provisions of special officials under the general rules of interfiscal privileges of diplomatic or consular

Article

agreements.

which the Convention applies. stantially similar in character to those to the Convention, which imposes taxes subspecifically excluded from the application of tions, its entirety or with any necessary modifical. This Convention may be extended, either in to any part of the territory of Denmark Any such ex-

2. Unless otherwise agreed by both Contracting exchanged for this purpose entry into force and termination of such exsubject to such modifications and conditions plication of this Convention to any territory tion under Article 30 shall terminate the ap-States the termination of the present Conventween the tension) as may be specified (including, if necessary, conditions as to the tension shall take effect from such date and it has been extended under this Contracting States and agreed bein notes to be

デ

ンマークとの租税 (所得)条約

九

2 1 の 一 生じ、 る 限りすみやかにコペンハーゲンで交換され この条約は、 との条約は、 月 か 一日以後に開始する各課税年度の所得について適用 両締約国 批准 准 され 書 「において、この条約が効力 「の交換の日の後三十日目 なければならない。 批准 るも 0 書は、 を生ずる年 日 のとする。 に効力を でき す

3 80 を受ける所得につい の日本 に対する租税に関する二重 九百 国とデンマー 五十九年三月十日にコペンハーゲンで署名され て終了し、 ク王国との間 課税の かつ、 の条約は、 回避及び脱税の防止 適用されなくなる。 との条約 0 た所 Ø 適 た

第三十条

き**、** が て他 た 0 行 後 締 ح なわ 方の 約国 VC その場合には、 の条約は、 開 締 始 れた年の翌年 þ 約国 する各年 ح の条 無期 K 対 . の 限 との条約 L 約 の効 Ø 六月三十 書面に に効力を有する。 月 笋 は、 よる終了の通 発 生 日以後 日以前 両 の日 締約国にお べ、 に開始する各課税年度 から五年の ただし、 告を行 外交上 'n \checkmark て、 の経 期間 なうことが ずれ その通 路 を経 を 0 通 一方 過 0 告 で ľ L

得

つい

て効力を失う。

五六

Article 29

at Copenhagen as soon as possible. instruments of ratification shall be 1. This Convention shall be ratified and the exchanged

ning on or after the first day of January in change of instruments of ratification and 2. This Convention shall enter into enters into force the calendar year in which this Convention as respects income for any taxable year beginshall be applicable in both Contracting States the thirtieth day after the date of the ex-

come to which this Convention applies. and cease to be applicable in respect of in-Copenhagen on March 10, 1959 shall terminate with respect to Taxes on Income signed at dom of Denmark for the Avoidance of Double 3. The Convention between Japan and the King-Taxation and the Prevention of Fiscal Evasion

Article

spects income for any taxable year beginning effective in both Contracting States as rechannel, written notice of termination and, in other Contracting State, through the diplomatic date of its entry into force, give to the such event, this Convention shall cease to be expiration of a period of five years from the June in any calendar year beginning after the States may, on or before the thirtieth day of indefinitely but either of the Contracting This Convention shall continue in effect after the first day of January in the

正当な委任を受け、この条約に署名した。 以上の証拠として、下名は、それぞれの政府からこのために

千九百六十八年二月三日に東京で、 英語により本書二通を作

成した。

 \mathbf{H}

本国のために

三木武夫

デンマーク王国のために

シュトフェンアデラー

notice is given.

duly authorized thereio by their respective calendar year next following that in which the IN WITNESS WHEREOF the undersigned, being

DONE in duplicate at Tokyo on February $\mathbf{3},$ 1968 in the English language. Governments, have signed this Convention.

For Japan:

(Signed)

Takeo Miki

For the Kingdom of Denmark:

(Signed) H. Zytphen-Adeler

議定

同 デ 条 ン 所得に対する租税に関する二重課税の回避のための日本国と 約 マーク王国との間 の不可 分の一 部をなす次の規定を協定した。 の条約に署名するにあたつて、 下 - 名は、

大陸がの とが るも ため 年六月七日 日 内に存在する恒久的施設とすることに同意する。 めの 所については、 できること及び前記の条約の Ø 本 固定し K 国 立場を害することなく、 利 対するデンマー 政府は、 得に対し のデン た場所を通じて地下鉱物資源の開発を行なつてい マ 国際法における大陸棚 これを日本国の居住者である企業の しては、 クの勅 ク デ の主権 令に ンマー 日本国の居住者である企業 適用 V の行便に関する千九百六十三 クに **う海底区域における採取の** 上、 お の地位に関する日本国 採取 5 て租税を課 のため の固定・ デ する ン で ī > マ

成した。 千九百六十八年二月三日に東京で、 英語により本書二通を作

一五八

form an integral part of upon the following provisions which shall Avoidance of Double Taxation with respect to Japan and Taxes on Income, At the signing of the Convention between the Kingdom of Denmark for the the undersigned have agreed the said Convention:

and that, Government of Japan agrees that the profits situated in Denmark of an enterprise which be regarded as a permanent establishment nental Shelf, shall be taxable in Denmark, of Danish Sovereign Rights over the Conti-Danish Decree of June 7, resources through a fixed place of extraction and carries on exploitation of subsoil mineral of an enterprise which is a resident of Japan international law of continertal shelf, Government of Japan concerning the status in in the submarine areas mentioned in the Royal a resident of Without prejudice to the position of the the fixed place of extraction shall , for the purposes of the said Con-Japan. 1963 on the Exercise

language Done at Tokyo in duplicate on february 3, 1968. <u>۔</u> ت the Engligh

H 本 国 木武夫 0 ために

デ マ Ì ク王国 0 ために

Η シ 2. ١ フ ı ンアデラー

(Signed)

For the Kingdom

of Denmark:

For Japan:

(Signed)

Takeo Miki

Ξ. Zytphen-Adeler

所 本国とデンマーク王国との間の条 第十六条に関する交換公文) 得 に対する租税に関する二重 課 約第四 税 0 回 条、 避 0 た 第八条及 め の日

ンマ 1 ク側

書簡

訳文)

了 国と日 得 解を閣 K 書簡をもつて啓 対す 本国との間 下 に通 租 税に関する二 報する光栄を有します。 Ē の条約に言及し、 5 たします。 重課税の 本 デンマ 回避の 使 は、 I ためのデンマ 本 ク王国政府の次の 日 署 名 され ı -ク王 た所

1 解決するものとする。 案第四条2に定める原則を考慮に入れて、 VC ついては、 第四 条2の規定に関 千九百六十三年の経済協力開発機構の模範条約 Ļ 双方の締約国の居住者となる個人 問題を合意により

2 空に によつて取得する利 機関たるス ついて適用する。 第八条の規定 デンマ つき有する持分に比例し ーク、 カ は、 デ ı 1 得 ス ナ ル ウェ カ ヴ (同航空のデンマー ン オ ディナヴ 1及び ァ て割り当てられる利得に限る。) 航空(s スウェ 1 ア航 A S)に関し、 ーデン共同航空運送 クの構成員が同航 空が航空機の 運用

3 第十六条の規定に関

者委員会」の構成員を含むものと了解される。 法人の役員」 には、 デ ンマ ークについては、 株主代表

ンマ

ークとの租税 (所得)条約

(Danish Note)

Tokyo, February

Excellency,

following understanding today, and to inform Your Excellency of the respect to Taxes on Income which was the Kingdom of Denmark. for the Avoidance of Double Taxation tion between the Kingdom of Denmark and Japan have the honour to refer to the Convenof the Government of

sideration the rules as set out in paragraph 2 of Article 4 of the OECD Model Convention settled by mutual agreement taking Contracting States, the question shall be With reference to paragraph 2 of Article 4; Where an individual is a resident of both into con-

ganization wegian and 2. With reference to the joint Danish, Nor-Scandinavian Airlines (SAS); Swedish air traffic operating or-

proportion to its share in that organization much of the profits so derived as is allocable to the Danish partner of the organization in craft by that organization, but only to so to profits derived from the operation of air-The provisions of Article 8 shall be applied

reference to Article 16;

tors of a company" is understood to include, the case of Denmark, a member The term "a member of the board of direc-

ことを貴国政府に代わつて確認されれば幸いであります。本 使 は 、閣 下が、前記のことが日本国政府の了解でもある

かつて敬意を表します。本使は、以上を申し進めるに際し、ことに重ねて閣下に向

千九百六十八年二月三日に東京で

日本国駐在デンマーク王国特命全権大使

三木武夫閣下

"repræsentantskab" of a company.

I should be appreciative if you would confirm on behalf of your Government that this is also the understanding of the Government of Japan.

I avail myself of this opportunity to

renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

Ambassador Extraordinary
and Plenipotentiary of
the Kingdom of Denmark
to Janan

(Signed)

H. Zytphen-Adeler

to Japan

His Excellency
Mr. Takeo Miki
Minister for Foreign Affairs
of Japan

日本側書簡)

(訳文)

次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。 書簡をもつて啓上いたします。本大臣は、本日付けの閣下の

デンマーク側書簡)

本国政府に代わつて確認する光栄を有します。

本大臣は、前記のことが日本国政府の了解でもあることを日

かつて敬意を表します。 千九百六十八年二月三日に東京で

本大臣は、以上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向

日本国外務大臣

(Signed)

三木武夫

日本国駐在デンマーク王国特命全権大使 ヘンリック・シュトフェンアデラー閣下

(Japanese Note)

Tokyo, February 3, 1968

Excellency,

date which reads as follows: ceipt of Your Excellency's Note of today's I have the honour to acknowledge the re-

"(Danish Note)"

behalf of my Government that the foregoing is Japan. also the understanding of the Government of I have further the honour to confirm on

highest consideration. renew to Your Excellency the assurance of my I avail myself of this opportunity to

His Excellency

of Japan

Foreign Affairs Minister for Takeo Miki

Baron Henrik Zytphen-Adeler Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Kingdom of Denmark to Japan

訳文)

海運所得に対する二重課 税の回避に関する取極の終了

に関する交換公文)

日 |本側 書簡

下に通報する光栄を有します。 得 ーク王国との間の条約に言及し、 に対する租税に関する二重課税の回避のための日本国とデン 簡をもつて啓上いたします。本大臣は、 日本国政府の次の了解を閣 本日署名された所

文によつて効力を生じた海運所得に対する二重課税の回避に関 が適用される日に適 する取極は、 九百二十七年十月十五日付けの東京において交換された公 前記の条約の効力が生じたときは、 用を終了する。 同条約の規定

でもあることを貴国政府に代わつて確認されれば幸いでありま 本大臣 は、 閣下 が、 前記のことがデンマーク王国政府の了解

か つて敬意を表します。 本大臣は、 千九百六十八年二月三日に東京 以上を申し進めるに際し、 ことに重ねて閣下に向

(Japanese Note)

Tokyo, February 3,

Excellency,

respect to Taxes on Income which was tion between Japan and the Kingdom of Denmark Japan . following understanding of the Government of today, and to inform Your Excellency of the for the Avoidance of Double Taxation with I have the honour to refer to the Convensigned

that this is also the understanding of the would confirm on behalf of your Government as from the dates from which the provisions of the said Convention, cease to ping profits shall, on the entry into force Government of the Kingdom of Denmark. of the said Convention ing for relief from double taxation on shipof Notes at Tokyo on October 15, 1927 provid-The arrangements effected by the Exchange I should be appreciative if Your Excellency have effect. have effect

highest consideration renew to Your Excellency the assurance of avail myself of this opportunity to mу

日本国外務大臣 三木武夫

(Signed)

Foreign Affairs Minister for Takeo Miki

of Japan

男爵 ヘンリック・シュトフェンアデラー閣下 日本国駐在デンマーク王国特命全権大使

His Excellency

Baron Henrik Zytphen-Adeler Ambassador Extraordinary and

Plenipotentiary of the Kingdom of

Denmark to Japan

デンマーク側書簡

(訳文) 書簡をもつて啓上いたします。本 使 は、 本 日付けの閣下の

次の書簡を受領したことを確認する光栄を有します。

日本側書簡)

ことを本国政府に代わつて確認する光栄を有します。 本 使 は、 前 記のことがデンマーク王国政府の了解でもある

かつて敬意を表します。 本 使 は 、 以 上を申し進めるに際し、ここに重ねて閣下に向 千九百六十八年二月三日に東京で

デンマークとの租税 (所得)条約

(Danish Note)

Tokyo, February 3, 1968

Excellency,

ceipt of Your Excellency's Note of today's date which reads as follows: I have the honour to acknowledge the re-

"(Japanese Note)"

the Kingdom of Denmark also the understanding of the Government of behalf of my Government that the foregoing is I have further the honour to confirm on

highest consideration, renew to Your Excellency the assurance of my I avail myself of this opportunity to

(Signed) H. Zytphen-Adeler

Ambassador Extraordinary

and Plenipotentiary of the Kingdom of Denmark to Japan

日本国駐在デンマーク王国特命全権大使 H・シュトフェンアデラー

日本国外務大臣

(参考)

この条約は、

三木武夫閣下

His Excellency Mr. Takeo Miki

of Japan

Minister for Foreign Affairs

千九百五十九年三月十日に署名された条約(現行条約集覧二国間条約参照)に代わるも 日本国とデンマーク王国との間で所得に対する租税に関する二重課税 Ø 回避の ために締

のである。 結したもので、